

【第1問】

問1

[illegible]

問2

	10										20										25				
5	工	事	間	接	費	の	配	賦	に	予	定	配	賦	法	を	用	い	る	意	義	の	1	つ	目	は
	配	賦	の	迅	速	性	の	要	求	に	応	え	る	こ	と	で	あ	る	。	実	際	配	賦	法	で
	は	、	期	間	で	の	実	際	工	事	間	接	費	額	が	確	定	し	な	け	れ	ば	配	賦	作
	業	を	実	施	し	得	な	い	か	ら	迅	速	性	の	面	で	問	題	が	あ	る	。	二	つ	目
	の	意	義	は	配	賦	の	正	常	性	を	確	保	す	る	こ	と	で	あ	る	。	建	設	業	の
10	工	事	間	接	費	は	、	操	業	度	の	変	動	に	ほ	と	ん	ど	影	響	さ	れ	な	い	固
	定	費	が	多	く	、	実	際	配	賦	法	を	採	用	す	る	と	工	事	繁	忙	期	に	は	そ
	の	配	賦	額	が	少	額	と	な	り	、	工	事	閑	散	期	に	は	そ	の	配	賦	額	が	多
	額	と	な	り	や	す	い	。	こ	の	た	め	比	較	可	能	性	を	も	っ	た	原	価	資	料
	を	作	成	す	る	に	は	予	定	配	賦	法	を	用	い	る	必	要	が	あ	る	。			

【第2問】 記号(ア～ス)

1	2	3	4	5
ウ	ア	サ	キ	ス

【第3問】

問1	直接配賦法	¥	413,400
----	-------	---	---------

問2	階梯式配賦法	¥	407,268
----	--------	---	---------

問3	相互配賦法—連立方程式法	¥	411, 120
----	--------------	---	----------

【第4問】

問1	当月の差額原価	37,500 円	代替案	2	(1または2)
----	---------	----------	-----	---	---------

問2	当月の差額原価	331,500 円	代替案	1	(同 上)
----	---------	-----------	-----	---	-------

問3	当月の差額原価	147,000 円	代替案	1	(同 上)
----	---------	-----------	-----	---	-------

問4	当月の差額原価	53,000 円	代替案	2	(同 上)
----	---------	----------	-----	---	-------

【第5問】

問1

完成工事原価報告書	
自 20x1年10月 1日	
至 20x1年10月31日	
x 建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	1,900,500
II. 労務費	296,000
III. 外注費	1,093,800
IV. 経 費	997,840
(うち人件費	652,840)
完成工事原価	4,288,140

問2

¥ 2,171,200

問3

① 運搬車両部門費予算差異	¥ 8,600	記号(AまたはB)	A
② 運搬車両部門費操業度差異	¥ 2,400	記号(同 上)	A